

# 看護学課題研究（基礎看護学）

[研究] 通年 選択 180時間 6単位

《担当者名》平 典子 [hiran@hoku-iryo-u.ac.jp]

## 【概要】

基礎看護学特論、基礎看護学演習、基礎看護学演習、臨地実習 および研究方法の諸知識に基づいて、看護実践の質の向上に寄与する具体的な研究課題を設定する。文献検討によって研究課題を明確にした上で研究計画を立案し、適切な研究方法および倫理的な配慮の実践を通して看護研究の基礎的能力を養う。

なお、研究課題の範囲は、対象者の理解、援助方法の検討、看護実践に影響する組織や制度に関する内容、看護実践の質の向上をめざす内容であればよい。

## 【学修目標】

1. 文献検討によって自らの興味・関心を深めた研究課題を説明できる。
2. 研究課題に沿った研究デザインを選択し、支援を受けながら研究を実施できる。
3. 論文作成、プレゼンテーション、面接審査を通して自らの考えを表現できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 4	授業のすすめ方 1. 問題意識の明確化	授業の前半はゼミナール形式ですすめ、後半は個別指導とする。 研究疑問を問い、研究疑問の構成要素を吟味する。 1) 自分が何を知っているのかを知る。 2) 文献が示す諸理論に疑いをもつ。 3) 諸理論と研究疑問を結びつける。	平
5 ) 10	2. 文献検討による研究課題・方法の明確化	1) 批判的文献検討から研究課題・方法を絞り込む。 2) 中間報告会の準備とまとめ。	平
11 ) 16	3. 研究計画書の作成	1) 研究計画書のフォーマットにそって記述する。 2) 題目・目的・方法・倫理的配慮の論理性を追求し、作成する。	平
17 ) 18	4. 倫理的配慮の手続き、データ収集の準備	1) 倫理的配慮に関する承認を受ける。 2) 調査等を行う施設・対象者への依頼を行う。	平
19 ) 24	5. データ収集、データ分析と検討	研究計画に従ってデータ収集を行い、スーパーヴァイズを受けながらデータ分析を行う。	平
25 ) 42	6. 論文作成	1) 論文の執筆ルールに従って論文を作成する。 2) 論文審査の準備とまとめ。	平
43 ) 45	7. 調査協力者への結果報告	調査協力者に調査結果を報告する。	平

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

課題への取り組み状況（30%）、論文審査基準に基づく最終審査試験（70%）

## 【教科書】

特に指定しない。参考文献は随時、提示する。

## 【学修の準備】

自らの研究課題を明確にした上で、年間計画を立てて臨む。